

Pickup Events



日=日時、日程 定=定員 料=費用 持=持参物
場=場所 問=受付、問い合わせ ☎=電話番号



▲ふっくるに並ぶ福津の花々

お花マルシェはリピーターのお客さんも多く、市内の花農家さんから届いた花は「持ちがいい」と評判です。

里市」から届いた花を販売します。

ふくつ観光協会
あんずの里のお花マルシェを開催します
JR福岡駅2階の福津市行政・観光情報ステーション「ふっくる」で「お花マルシェ」を開催します。福津はおいしい魚介や野菜だけでなく、花の名産地としても広く知られており、直売所には色とりどりの花が並んでいます。そこで今回は「あんずの里市」から届いた花を販売します。

なごみ歌カフェ
平川卓哉さんのギター演奏
本格的な管弦楽の演奏をお楽しみください。
令和4年1月19日(水)午前11時～正午
定30人 ※要予約

うみがめ室内管弦打屋コンサート

地域住民のかたなど誰でも気軽に集える場所です。
令和4年1月18日(火)午後1時30分～午後3時30分
茶菓子代などとして100円
津屋崎千軒なごみ

オレンジカフェ津屋崎

早い時間に売り切れてしまうことも多いので、早めの購入がお勧めです。冬の寒い時期だからこそ、部屋に花を飾って明るい気分でごしょう。
令和4年1月12日(水)、1月19日(水)、1月26日(水) いずれも午前11時～※売り切れしだい終了
場ふっくる
問ふくつ観光協会 ☎42・9988

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を予定していたイベント・企画などが中止や延期、内容が変更になる場合があります。

青山正泉木こころ書の会

書とてん刻の教室です。予約が必要です。
1月の毎週金曜日 午前10時～正午
¥1回千円
問津屋崎千軒なごみ ☎52・2122

津屋崎千軒なごみ

奏と歌をお楽しみください。
令和4年1月22日(土)午後2時～午後3時
定30人 ※要予約



▲ギター演奏と歌声を聞く来館者

藍の家 日記

波折神社境内社写真展

令和3年に御遷座八百年を迎えた、津屋崎の氏神様である波折神社に関する展示です。神社の縁起、境内社などを紹介。
令和4年1月8日(土)～1月25日(火) ※最終日は午後2時まで

藍の家放送局

ギターの弾き語りや、すてきな歌声を披露してくれる井上ひろゆきさんが出演します。
令和4年1月16日(日)午後1時～午後3時

藍染め体験

インド藍でハンカチを染めます。自分で染めるためのインド藍の染料セット付きです。
令和4年1月22日(土)午後1時～午後3時 ※要予約
持ビニール手袋、エプロン ¥2,000円

リュートの調べ

深町信秀さんが、グリーンスリーブスや日本の懐かしい曲などを演奏します。古楽器の心温まる繊細な音色を楽しみながら静かな夜をゆっくり過ごしませんか。
令和4年1月22日(土)午後6時～午後7時

問津屋崎千軒民俗館 藍の家 ☎、FAX52・0605

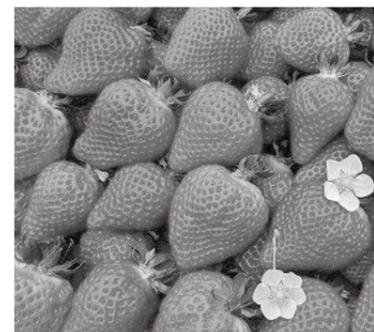
●開館時間 午前10時～午後4時(日曜日は午前10時～午後5時)

いい素材、食材、人材をつなぐ地域商社

今日の「いいざい」

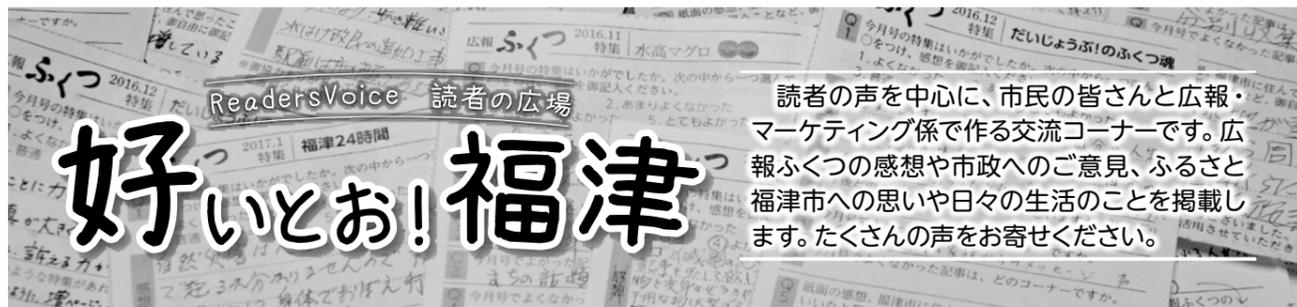
いちごの季節

「あまおう」が有名な福岡県は、全国第2位のいちごの生産地で、市内にも多くの生産者がいます。「今年は長雨や暑い時期が続き、気候の変化で例年になく苗の管理に苦労したけれど、何とか順調に育ってきている」といちご農家の桑野真光さんが話してくれました。5月ごろまで、あんずの里市・ふれあい広場ふくま・お魚センターうみがめで、福津産のいちごをお買い求めいただけます。生産者さんが手間暇かけて育てた愛情たっぷりのいちごを、ぜひご賞味ください。



▲生産者さんの愛情たっぷりのいちご

問 福津いいざい ☎72・6333



読者の声を中心に、市民の皆さんと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想や市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のことを掲載します。たくさんのお声をお寄せください。

広報11月号の感想
地産地消に知恵をしぼって
入のうち、市税を増加させる施策を地道にお願いします。福津市自体が福津市内では最大の発注額を持つ事業者です。地元調達増加と市内業者の育成に知恵をしぼり、お金を福津市内に落とすことを考えてください。まずは、広報紙の印刷業務を地元業者に発注することを検討してはいかがでしょうか (Worldさん/通り堂/66歳)
いつもお便りありがとうございます。Worldさんがおっしゃるとおり、福津市内でお金を使ってもらうようにすることはとても大切なことです。「第2期福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも地産地消の推進をしていくことを明記しています。また、市民の積極的な市内消費を促す市内事業者の取り組みを支え、中小企業・小規模事業者の円滑な承継を支える取り組みを行っていくことも合わせて明記しています。
広報紙の印刷業務に関しては、質を落とさず、より良い広報紙

を市民の皆さんにお届けすることを念頭に、毎年業者選定を行っています。もちろん市内業者も参加できることになっていますが、膨大な印刷量に対応できる機材や人員、場所が必要であり、実情はなかなか難しいという話を伺っています。ご意見ありがとうございます。
広報ボランティアからの投稿
クラフトテープのスタードーム
若木台がいから公民館で、10月31日にスタードーム作成が行われました。郷育カレッジなどでは竹を使って作るスタードームですが、今回はクラフトテープで作成しました。参加したのは、若木台5区にお住まいの8家族。子ども10人、大人9人が参加しました。最初は難しそうでしたが、慣れるに連れて上手になり、約1時間で完成しました。
(広報ボランティア 真鍋ア 真鍋光さん)



読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題をお届け

街角カメラリポート

今回は津屋崎のT・Uさんからの投稿です

在自川のコイ

今から約15年ほど前。大雨のため、津屋崎7丁目周辺が私の腰の辺りまで冠水したことがあった。慌てて車をカメラアールの駐車場に移動させた人もいれば、床下まで水が入ってきた家もあった。近くを流れる増水した「在自川」には、当時、野生のコイが泳いでいた。毎朝ランニングをする私は、コイを見るのを楽しみにしていた。だんだん慣れてきて、人の気配を

感じて逃げなくなった。ところが数年前、黄色い大きな重機で、川底にたまった泥、雑草、ゴミなどを根こそぎ掘り出す工事が始まった。あつという間に川底は分厚いコンクリートで固められてしまい、コイは一匹もいなくなってしまった。

どこへ行ってしまったんだろうと毎日思っていたところ、最近、そのコイたちが戻ってきたのだ。それもかわいたくさんの稚魚を引き連れて。

コケの生えた灰色のコンクリートの上をわが物顔で悠々と泳いでいる。お帰り。今日もコイを見るのが楽しみだ。



▲コイが戻ってきた在自川

投稿大募集

「好いとあ!福津」と「街角カメラリポート」は皆さんと一緒に作るページです。市内での出来事や広報紙の感想などがあれば、29ページのはがきやメールなどで受け付けています。

なお、お送りいただいた内容は、加筆、修正、短縮する場合があります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。また、匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。たくさんのお声をお待ちしています。